

科目区分	統合分野			科目番号	1202	曜日時間	不定期
授業科目	在宅看護援助論 I						
単位数	1 単位	時間	15 時間	開講時期	2年次後期	授業形態	講義・演習
担当教員							
授業目的	在宅における看護師の役割を理解する。						
中核	自己決定支援						
授業目標	1. 在宅看護における自己決定支援の必要性が理解できる。 2. 在宅で直面する倫理的課題から、自己の死生観を探究できる。 3. 在宅で終末期を過ごす療養者と家族の特徴と看護が理解できる。						
授業の内容と方法	回	授業内容	授業方法	時間	担当	備考	
	8	I. 在宅看護における様々な倫理的課題と権利擁護 II. 在宅看護における倫理的課題 難病療養者（ALS療養者）人工呼吸器装着と自己決定支援 自己の価値観の探究・多様な価値観の探究 III. 在宅で終末期を迎える療養者の特徴と看護 症状マネジメント・緩和ケアの実際（精神的安寧） IV. 在宅で終末期を迎える家族の特徴と看護 看取りの看護・家族へのグリーフケア V. まとめ・評価	講義 ペアワーク ディベート	16		科目 ガイダンス DVD 「選択」 難病講演会	
終了後課題	レポート「自己の死生観」 1200字以上						
評価計画方法	筆記試験80% 課題評価・授業態度(グループワーク等)20% (別紙配布)						
テキスト参考図書	櫻井尚子他編：ナースィング・グラフィカ在宅看護論 地域療養を支えるケア, メディカ出版 参考) 河原 加代子著：統合分野 在宅看護論, 医学書院						
実務歴有							
講義への反映							
備考	リフレクションノートおよびポートフォリオ用のクリアファイル等は各自準備すること						